

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

NHK山岳カメラマンの講演はいかがでしょうか

松本深志高校の西牧先生からのご紹介です。「11月9日(土) 11:25~12:30に深志の35回生特別講義があり、11人の講師が来ます。その中で、米山悟君というNHKの山岳カメラマンがいて、この道では国内で最も経験豊富な人物です。差し支えないようでしたら、かわらばんで流して下さい。対象は本校一年生が主ですが、35回生を中心に外部の方も出入りします。出席されたい方は西牧さん nishimakitakeya@gmail.com に御一報下さい。(アドレスは*を@に変換してください。)」

場所: 松本深志高校 物理教室 日時: 11月9日(土) 11:25~12:30

講師: 米山悟 (NHK甲府放送局 カメラマン) 演題: NHK山岳カメラマンの仕事

内容: NHKで一番山に登っているカメラマンです。全国を転勤して各地の山の番組を企画したり、パタゴニアやヒマラヤの8000mの高峰に登ったりして番組も作りました。甲府では今年、富士山のNHKスペシャルの制作のため冬富士に通いました。カメラマンは画面に出ない裏方と思うかもしれませんが、私の場合は積極的に言葉をつぶやき、臨場感あるドキュメンタリーを撮りたいと思っています。山でどんなふうに番組を撮るのかお話しします。また、「イグルー」という雪山幕営の技術について話します。国内でおそらく一番の経験者ではないかと思えます。

かわらばんに寄せられた励まし

かわらばん500号を出した直後に多くの皆さんから励ましをいただきました。お付き合いいただいている読者の皆様には、私の方こそ感謝の気持ちでいっぱいです。ちょっとこそばゆいですが、読者の皆様の交換の場という意味で以下にご紹介いたします。

500号おめでとうございます。ますますのご活躍をお祈りします。(飯田山岳会 北原秀明様)

洞井です。御無沙汰しています。かわらばん500号、おめでとうございます、というか、すごいですね、というか、ひとつの大きな区切り(通過点でしょうけれど)を迎えることができる、というのはやはり精進と継続のたまもの。しかも、毎号、実践の記録というか、旬の話題。それだけ行動半径も、行動そのものも。エネルギーだということで、感服しています。さて、先日は、ストロー呼吸法(?)のデータをお送りくださってありがとうございました。ばたばたして、お礼もまだのままで時間がたってしまい、失礼してしまいました。お許してください。最近、なかなか山に行けなくて、気持ちもうしろむきになってしまいそうです。瓦版、読ませていただいて、気持ちをかきたたせています。とりにそぎ。(洞井孝雄様)

かわらばん、いよいよ500号になりましたね。正に継続は力なりです。記事を集めただけで立派な本が出来そうですね。コバシユンとカツノ御大に関する記事、しみりとさせられました。GPSの件、大変参考になっています。小生なりに、今度は、スマホなどの位置情報との比較もしてみたいと思っています。(松田大様)

500号おめでとうございます。100号、200号の時も感心したのに、500号まで来るとは。まったく頭が下がります。教師の鑑。(星野吉晴様)

500号おめでとうございます。偉業とっていいと思います。お祝いと敬意を表します。すごいことです。山、文章とも達人です。『山』読みました。江本嘉伸氏が評価した通りです。江本氏は、能海寛研究会(会長=小生)の顧問としてご指導いただいております。地元や東京で何回もお目にかかりお叱りをいただいております。江本著『チベットに消えた旅人 能海寛』(求龍堂)は、能海の評伝でして、小生の研究成果も紹介されております。今夏は膝の調子が悪く、高体連の夏山合宿(涸沢、奥穂)はキャンセルせざるを得ませんでした。冬のススキーもどうなることやら…昨年金具を新調しましたので、ぜひ貴県の研修会に参加したいとは思っていますが…退職3年目に思わぬひざの故障で、この先登山が危ぶまれます。それでも、9月はモンゴルに、留学生との共同研究の教育調査&観光でした。貴殿には、長山協、高体連の地元はじめ、さらには全国&海外レベルでのご活躍に、いつも敬意を表しています。健康に留意され、全国岳界をリードしてください。松田さんにもよろしくです。またお目にかかりますよ。(岡崎秀紀様)

重田です。かわらばん500号、おめでとうございます。ご苦労様ですと言うべきでしょうか。毎号楽しく、感心しつつ読ませていただいております。白田高校で3年生の女の子が「山岳同好会で山に行きたい。でも虫が嫌いだからキャンプはいやだ」というような子を相手に、ちょこっと山登りに付き合っています。4月に荒船山、その先は都合がつかず、今月末に北八ツの白駒池から高見石を計画。若い先生の中に「山に行きたい」という方もおり、苗場山登山を計画しましたが、悪天のため断念。11月に西上州の山歩きを考えています。信高の例会、11月下旬か12月上旬に、昨年に引き続いての妙義山を考えています。ご一緒しましょう。(重田肇様)

ついに500号ですね。陰(?)ながら楽しみにしていました。おかげで、浦島太郎にならずに済んでいます。私の山復帰は来夏の予定です。今後ともよろしく。(竹内佳一)

記念すべきかわらばん500号の発刊、誠におめでとうございます。日本山岳会会報「山」820号に掲載された江本嘉伸さんの「日本の登山の今」も拝読させていただきました。大西先生が長山協の理事長として重責を担われておられることと共に、高校山岳部の衰退・廃部を聞くことが多かった昨今、池工の頼もしい涸沢合宿のご指導を高く評価され、山の世界にいい指導者がいることの大切さを感じるとおおいに讃えておられました。私も全く同感です。おめでとうございます。今後も安全登山を第一に素晴らしいご指導をされることをお祈りいたします。(小宮山守様)

500号おめでとうございます。お疲れ様でした。これからの更なる活躍をお祈りします。現役の方の大変さと影響力の大きさを感じています。これからもメール楽しみにしています。(高橋守男様)

2002年3月10日第1号が発行されて以来、11年半に及ぶ成果です。中信地区の行事や活動に限らず、全県から全国の山域や情勢に関する内容はもとより、ときには世界の山々に目を向けた見聞の広さには大変勉強させて頂きました。いつもタイムリーな話題や貴重な問題提起を行う内容は、もはや「中信高校山岳部かわらばん」の域を大きく飛び出し、高校登山に関係する我々の情報紙的な存在にあるといえます。これからも、ますます内容豊かな「高校山岳部かわらばん」として続いていくことを願っています。(丸山真明様)